



日赤あいち

No. 133
2018.冬



創立130周年
記念大会レポート
NHK海外たすけあい
赤十字ブース出展

フリモARで
迫真の訓練風景を
動画でチェック!



災害時に備えて
救護訓練や研修を
行いました



弥富市赤十字奉仕団

蟹江町赤十字奉仕団

赤十字奉仕団
ボランティア
リレー

ボランティアとして
活躍する奉仕団を
リレー方式で紹介

今号の奉仕団 蟹江町赤十字奉仕団



婦人会と兼務。女性パワーで
がんばっています



炊飯袋の使い方を実習を
通じて学びます

蟹江町赤十字奉仕団の活動は、「広めよう赤十字」5月の愛知斉キャンペーンからスタートします。朝7時半から9時まで、近鉄とJRの蟹江駅に分かれ、45名ほどで赤十字の普及活動を行います。毎年7月には、防災訓練を企画、主催します。午前は地域の皆様と一緒にテントを張ったり、炊飯袋でご飯を炊いたり副菜を作る炊き出し訓練。午後には、日本赤十字社愛知県支部から講師を招き、命を守るための様々な短期講習を行います。蟹江町は海抜0メートル地域です。地域防災に力を入れ、海部地方

防災訓練にも積極的に参加するなど、防災・減災への意識向上を目標に掲げて活動を行っています。イチョシポイント一年を通じて活動が活発蟹江町赤十字奉仕団は、婦人会と兼ねているため、年間を通して活動が目白押しです。日ごろから地域が一丸となって活動することにより、より良いコミュニケーションをはかることができ、いざという時の備えになっていると思います。団員は一年ごとに変わりますが、関わる人が増えるという点で良いことではないかとポジティブにとらえています。これからも引き続き頑張っていきます。

海抜0メートル地域だから
防災への意識を高く

こんな活動をしています

一年を通じて活動が活発

イチョシポイント

日進市赤十字奉仕団

岡崎市赤十字奉仕団

豊田市赤十字奉仕団



活動資金

ご協力ありがとうございます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として多額のご寄付をいただいた法人様

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ● 藤吉工業株式会社様 | ● 株式会社フェニックス様 |
| ● 株式会社パロマ様 | ● 本美海運株式会社様 |
| ● 株式会社ミニミニサービス様 | ● 株式会社名古屋グランパスエイト様 |
| ● 株式会社クリーンミニ様 | ● 株式会社山忠様 |

赤十字事業は、皆さまからの活動資金のご協力によって支えられています。

郵便振替口座／00860-1-732 日本赤十字社愛知県支部

郵便局備え付けの払込取扱票でお手続きください。ご不明な点は
日本赤十字社愛知県支部事務局 企画振興部赤十字会員課まで。

TEL 052-971-1596 (直通)

ご協力をお願いいたします



日本赤十字社 愛知県支部 日赤あいち
Japanese Red Cross Society

〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50 TEL 052-971-1591 (代表)
発行元／日本赤十字社愛知県支部 発行日／平成30年1月1日



活動の詳細や最新情報は
ウェブサイトかツイッターへ

日赤愛知 検索
www.aichi.jrc.or.jp



日本赤十字社愛知県支部
支部長 神田 真秋

神田 真秋

昨年、日本赤十字社愛知県支部は創立130周年を迎えることができました。これも、ひとえに会員の皆さまによる活動資金のご協力や赤十字奉仕団等ボランティアの皆様による活動への参加など、日ごろからの温かいご支援の賜と、心より感謝申し上げます。愛知県支部では、これからも人道をはじめとする赤十字の諸原則に基づき、社会の期待に迅速かつ的確に応えられるよう各事業を一層推進させてまいります。今後とも皆様方の格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

クロスサポーターに Interview 聞く!!

No. 25 有限会社アクサポートICHIDA
代表取締役 一田 幸男さん
活動内容

赤十字の水上安全法の指導員として、ボランティア活動をおよそ40年にわたり続けるほか、命を守るための活動を行う赤十字事業に賛同し、資金援助の活動も。1 to SWIM swimming school 春日井市高山町1-7-2 ☎0568-33-6126



愛知県支部が海で開催する
親子レスキューでも一田さん(左)が活躍

泳ぎだけではなく
命を守ることの大切さを
子どもたちに教えていきたい。
泳ぎが上手なだけでは
自分の命は守れない
赤十字との出会いは、一田さんが水泳のインストラクターを目指し、水上安全法救助員養成講習を受講した18歳の頃でした。「赤十字と出会って、水の事故から命を守る知識や技術の大切さを学び、それを広めたいと考えるようになりまし」と穏やかに話します。20歳で赤十字の水上安全法の指導員となって以来ずっと、ボランティア活動を続けています。そんな一田さんのスイミングスクールでは、必ず最初にライフジャケットの着方を教えます。「東日本大震災の津波を見て、上手に泳げれば命を落とすことはないという考えを捨てました。赤十字同様に、命を守ることの大切さを伝えたいと思っています」

資金援助も大切な
赤十字への支援活動

様々な方法がある赤十字支援ですが、「寄付はお金持ちの方がするもの」と思っていました」と一田さん。しかし故郷で起きた阪神・淡路大震災で、水泳インストラクターとして何とできない自分に呆然。そこで募金箱を設置し、できる限り多くのスイミングスクールに協力も要請し、義援金を募る活動を行いました。さらに東日本大震災などの



スイミングスクールで
使用されているライフジャケット

変わらぬ理念で
活動する赤十字に期待

「私が望むのは、変わりゆく赤十字と変わらない赤十字です。社会のニーズに常に応え、新たな事業展開や支援方法などを見出し、欲しいですね」と話す一田さん。赤十字が、そして愛知県支部が、「人道支援」という、いつの時代も不変の理念をもって、多くの命を救う活動を展開することを期待しています。

表紙の写真が動き出す!?
スマホで動画をご覧ください!

動画の視聴方法

- 右の二次元コードからフリモARアプリをダウンロードして起動
- ①マークがついた写真にスマホをかざすと、スキャン後動画が始まります



TOPICS

トピックス

活動やイベントをご報告します

EVENT

日本赤十字社愛知県支部創立130周年記念大会を開催

高円宮妃殿下をお迎えし、出席した1,500人が赤十字への思いを新たに

日本赤十字社愛知県支部では昨年、創立130周年を迎えました。それを記念して、12月12日(火)に愛知芸術文化センターで創立130周年記念大会を開催しました。



左)日本赤十字社名誉総裁である高円宮妃殿下御臨席の下、約1,500人が出席して開催しました



中)高円宮妃殿下に有功章の御授与を賜りました



右)名古屋第一赤十字病院の御視察の様子

大会には、赤十字への寄付や継続的なボランティア活動を通じて赤十字活動を支えてくださっている約1,500人が出席。130年の歴史を振り返るとともに、日本赤十字社愛知県支部事業への理解を深めていただける機会となりました。

当日は、日本赤十字社名誉副総裁である高円宮妃殿下に御臨席いただき、

有功章の御授与を賜りました。高円宮妃殿下は、同大会におけるお言葉の中で、「災害対策や献血などの赤十字事業が年々充実し、発展を遂げていることを心強く思います」と述べられました。

大会への御臨席のほか、高円宮妃殿下は昨年オープンしたばかりの献血ルームゲートタワー26や名古屋第一赤十字病院を御視察されました。

REPORT

多くのイベントで防災・減災を啓もう

赤十字ブースを各種イベントに出展！

この秋は、県内各地で開催されたイベントに、防災・減災をテーマとした赤十字ブースを出展し、多くの方にお立ち寄りいただきました。

11月5日にイオンモール常滑で開催された「みんなの防災+ソナエ」には、常滑市赤十字奉仕団やボラン

ティア指導員、青年ボランティアなどが協力。多くの家族連れが来場し、親子で楽しみながら防災・減災について学んでもらうことができました。

11月19日の「とよはしインターナショナルフェスティバル」では、外国人指導員が救急法短期講習を実施。多くの外国人住民に、赤十字事業や愛知県支部が推進する多文化共生事業を知ってもらう機会となりました。



左上)11月12日には愛・地球博記念公園にて防災フェスタも 左下)外国人にも母国語で講習をおこないました 右)家族で防災・減災体験をしてもらった「みんなの防災+ソナエ」



EVENT

世界の「苦しんでいる人」を救うため

NHK海外たすけあい

今年も県内各地で街頭募金や赤十字チャリティイベントを行いました。

12月17日には赤十字親善大使のグランパスくんが駆けつけ、「クリスマス献血キャンペーン」とチャリティイベントを同時開催。

期間中は、多くの皆さまからのご協力を頂きました。寄せられたご寄付はすべて、援助を必要とする世界中の人々の支援に活用されます。



学生ボランティアによる募金や献血の呼びかけの様子

日ごろの業務内容はこれ！
小児科病棟で、患者さんやその家族に、薬剤の効果や副作用、飲み合わせなどの説明を行っています。小児では、剤形(錠剤や粉薬など)が飲みやすさや内服状況に影響するため、最適な剤形を医師・看護師と検討しています。抗がん剤治療中や食事が取れない患者さんの点滴の調製や飲み薬の調剤も行っています。



名古屋第一赤十字病院 薬剤師 山本侑佳

実際に研修を受けてみると、職員が紙カルテに慣れていないなど、具体的な問題点が、思った以上にたくさん出てきました。研修で学んだことを生かし、最大限の動きをしたいと思います。

研修を受けて

うこととなります。訓練前、救護員研修の基礎研修を受けた際は、ふだんの業務とは違う状況でどう対応していくかイメージがわかず、自分でできるのかという不安が出てきました。



救護班の一員としての責任の重みを実感！

医師や看護師だけではなく、私たちも救護員となります！

PICK UP

災害発生時には、薬剤師や検査技師など、コメディカルや血液センターの事務職員も、救護員として被災地に赴くため、研修員の一人として参加しました

研修は、入社以来初めてと

研修を受けて

主な仕事は、必要な血液製剤が不足しないよう献血者に献血を依頼すること。ハガキやメールでなるべく多くの方々に献血のお願いをし、稀な血液型の依頼が入ると、合致する献血者に直接電話もします。献血者の情報管理や、愛知県内に点在する献血ルームへの情報共有も私の仕事です。



愛知県赤十字血液センター 主事 加藤篤史

日ごろの業務内容はこれ！

不足しないよう献血者に献血を依頼すること。ハガキやメールでなるべく多くの方々に献血のお願いをし、稀な血液型の依頼が入ると、合致する献血者に直接電話もします。献血者の情報管理や、愛知県内に点在する献血ルームへの情報共有も私の仕事です。



日ごろと全く違う現場で多くを学びました

る、普段の仕事とは全く異なる「救護に関わる機会でした。血液センターが災害時にどのように活動するべきか、実践的な訓練を行うことで、災害救護への心構えができたように思います。

しかし、一度の研修ですべてが身につくわけではありませんし、災害はいつ起こるかわかりません。機会をみて復習しながら、被災者の命を救うため、主事としてできる限りのサポートが行えるよう、日ごろから研鑽を積みみたいと思います。



訓練あってこそ救護班の使命が果たせるんです

わたった全員が「苦しんでいる人を救いたい」という気持ちで新たに実感する研修となりました。

訓練に参加した学生からは、「将来赤十字の看護師として病院で働くため、今のうちから災害救護の様子がわかる、とても貴重な経験になった」「災害時に患者の状況を判断しトリアージをするのはとても難しいとわかった」といった感想が

会場となった日本赤十字豊田看護大学は、災害救護活動を行うことができる看護師の養成を重視する教育機関。大学4年生が訓練を見学したり、学生が傷病者役や救護班のサポート役で参加したりと、日ごろはできない体験、生きた学習ができたようです。

「訓練できないことは本番でもできない」

市消防本部など、関係機関との連携も確認することができました。



日本赤十字社では、災害時には総力を挙げて被災者の災害救護活動に取り組みとともに、平時には災害発生時に備えた訓練や研修を重ねています。平成29年11月には、大規模災害に備えた救護員研修を開催。参加した39名は、防災・減災への願いと使命感を新たにしました。

39名の職員が3日間の研修に参加

日本赤十字社では、災害発生時に迅速な救護活動が行えるよう、必要な知識と技術の習得のため、行政、消防、警察などの関係機関と連携した救護訓練や研修を実施しています。

平成29年11月には、8日(水)〜10日(金)の3日間にわたる救護員研修を実施。愛知県支部、名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、愛知県赤十字血液センターの職員39名が研修生として参加しました。

研修2日目は、日本赤十字豊田看護大学を災害拠点病院に見立て、現場救護所の活動や医療救護活動など、病院支援活動としての訓練を実施。当日は豊田市をはじめ、愛知県警察、名古屋市消防局、豊田

挙がりました。

訓練スタッフも合けると総勢約250名超。大規模な研修となりました。災害発生時、救護班を派遣し、一人でも多くの人命を救助するとともに、被災地において、被災者に寄り添った支援活動を行うことが、日本赤十字社の使命。研修に関

クローズアップ
CLOSE UP

平成29年度救護員研修を実施しました。救いたい。そして、支えたい。その思いを胸に……



01



04



03



02

01 名古屋消防局及び豊田市消防本部と連携し、実際にヘリコプターで患者役を搬送しました 02 実働訓練は、早朝の集結訓練からスタート。救護員たちは、支部災害対策本部と無線で連絡をとりながら、災害現場に到着 03,04 現場救護所や災害拠点病院支援を想定した実働訓練の様子。豊田看護大学の学生や赤十字ボランティアが患者役を演じました